


令和元年度 研究サマリー

研究会名称	保存期腎不全治療研究会	
代表者所属	医療法人 海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック	
代表者氏名	海津 嘉蔵	
研究方法・結果	<p>目的：進行した慢性腎臓病（CKD）におけるチーム医療による多数治療目標厳格治療の効果を明らかにする事</p> <p>方法：CKDG3 b以上に進行した CKD 患者（糖尿病性腎臓病を除く）を対象とし、チーム医療による多数治療目標厳格を実施し、その効果を検討する。</p> <p>結果：対象はCKD 患者 20 例：G3 b 14 例（M/F：7/7）、G4 23 例（M/F：13/10）、G5 6 例（M/F：3/3）である。1 年後に治療開始前後の腎機能を比較した。</p> <p>(1) 血圧、尿蛋白、尿酸、HCO_3^-の有意な改善がみられた。</p> <p>(2) G3b～G5 群で eGFR の有意な低下はみられなかった。但し、1 例は 11 ヶ月後に透析導入された。</p> <p>結論：CKD 患者に対してチーム医療を行う治療目標厳格治療は腎保護作用がある。</p>	
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）	<p>神奈川腎と薬剤研究会（特別講演）チームで取り組む糖尿病性腎臓病及び慢性腎臓病の治療と問題点</p> <p>第 2 回九州 CKD 看護研究会（特別講演）チーム医療で厳格に治療すると CKD 進行を抑制できる～チーム医療実施のポイントと問題点</p> <p>協和発酵キリン(株)社内研修会（特別講演）腎臓医がチーム医療で行っている外来診療－腎機能改善外来の効果とその限界－</p>	